

ハーブティ

男女共同参画社会とは「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

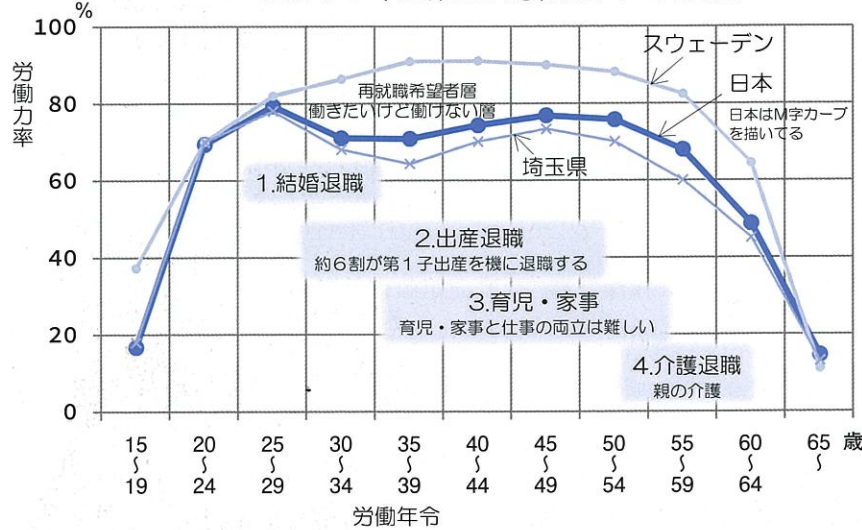
＝男女共同参画＝

『女性が社会で輝くには』 どうすれば良いか？

女性の輝く社会
を作るには

M字カーブの修復 (女性の復職を妨げているものは何か)

2014年女性の労働力率の比較



＜スウェーデンと日本の差は何？＞

＜退職理由＞

- 1.結婚退職
- 2.出産退職
- 3.育児・家事
- 4.高齢者介護

＜社会復帰・再就業希望者＞

日本は働きたいけど働けない層が15%もいる

＜職場・社会復職の困難な理由＞

- 1.元職場の復職受入れ態勢の不充実
(給与、仕事内容、育児休暇、勤務体制、育児・介護と仕事両立への理解度の低さ)
- 2.行政施策の遅れ
(保育所等育児施設不足、体制作りの遅れ)
- 3.夫の協力・理解不足
(男は外、女は内・家庭等、旧弊へのこだわり)

再就業の最大の課題点は育児との両立(ワーク・ライフ・バランス)

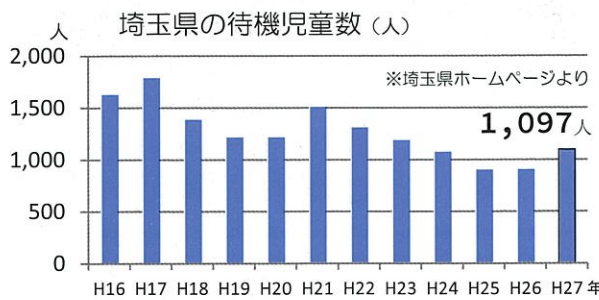
＜仕事と育児との両立を助けるための白岡市の実情＞

＜最近の政府・企業の取り組み例＞

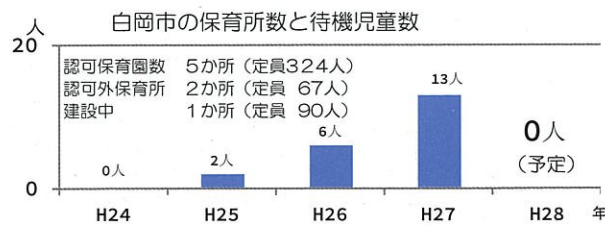
- カンガルースタッフ制度 (S 化粧品会社)
カンガルースタッフは、育児時間を取得するビューティーコンサルタントが育児時間を取得している不在時に、お客さまの対応や店頭での後方業務を行う一定の教育を受けた人を採用し、ビューティーコンサルタントの業務をサポートする制度
- ライフイベントサポートプログラム (M 商社)
出産・育児、介護、配偶者の海外転勤といったライフイベント時に社員の仕事と生活の両立を支援するためのプログラム
- 企業内保育施設(保育所・託児室)の設置 (Y 乳酸飲料会社)
働く女性が安心して子ども(1歳から)を預け仕事ができる環境づくりをしている。

○くるみんマーク認定制度(厚生労働省)

平成15年7月の「次世代育成支援対策推進法」により、301名以上の企業で一定の基準を満たした場合は、申請により「子育て支援企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定/プラチナくるみん認定)を受けることができる。
会社ぐるみ、職場ぐるみで仕事と子育てを両立させる制度で、それにより企業はステータス・イメージアップにつなげることができる。
(マークは赤ちゃんが「おくるみ」に包まれている様子を表している。)



県全体ではまだまだ行政の対応が実情に追いついていない。



白岡市では建設中の保育所が平成28年4月に完成の予定。これにより平成28年度の待機児童の問題は解消される見込み。



うちの自慢のイクメンパパとカジメンパパ



＜イクメンパパとカジメンパパの条件＞(パパにぜひやってもらいたい事)

- | | | | |
|------------|-------------|---------------|-----------------|
| 1.買い物 | 5.赤ちゃんの入浴 | 9.ゴミ出し | 13.両親の介護 |
| 2.料理か後かたづけ | 6.授乳・ミルク作り | 10.保育園への送迎 | 14.ママへの優しい言葉かけ |
| 3.お風呂掃除 | 7.オムツ替え | 11.PTA出席・学校参観 | 15.ママの愚痴を聞いて |
| 4.部屋の掃除 | 8.子どもの寝かしつけ | 12.子どもの遊び相手 | 16.「ママありがとう」の一言 |

五十嵐さん うちの自慢の育メンパパ(新白岡在住)

＜どんなところが自慢ですか？＞

結婚当初からではありませんが、育児、家事には協力的でした。仕事をフルタイムで始めてなかなか時間が取れない時など、洗濯しても干すのは明日やろうと思って置いておくと、黙って干してくれたりしてとても感謝しております。私が主人の立場でしたら自分もそうするかどうかが自信はありません。

＜点数をつけるとしたら何点ですか？＞

90点ぐらいかな。

＜更に、努力、協力してほしいことがありますか？それは何ですか？＞

朝の出勤時にゴミ出しをしてくれると、もっとうれしいですね。

＜男女共同参画について何かありますか？＞



いがらし きょうこ
五十嵐 恭子 さん

男女共同参画は主人だけでなく、子ども達もできることを徐々にしてくれるようになってきました。家庭は社会の最小単位と言われますが相互の協力が不可欠です。それにはお互いを思いやることから始まるのではないかと思います。



いがらし あきひさ
五十嵐 明久 さん

動物の世界では「育メンパパ」は常識です。

ペンギンの赤ちゃんはパパの足の上が大好きです。



鎌田さん うちの自慢の家事メンパパ(小久喜在住)

＜どんなところが自慢ですか？＞

子ども達が楽しめそうなイベントや公園をリサーチして連れて行ってくれたり、身体を使って思いきり遊んでくれるところです。料理(特にピヤベース)も大得意で、子ども達も大好きです。また、子どもにも両親にもとてもやさしいところです。

＜点数をつけるとしたら何点ですか？＞

100点満点！プラス100点！

＜更に、努力、協力してほしいことがありますか？それは何ですか？＞

身体が心配なのでお酒を控えめにしてほしいです。

＜男女共同参画について何かありますか？＞

育児はもちろん、休日は家事一切も引き受けてくれるのでとても感謝しています。おかげで私は育休復帰後も仕事を続けられました。

子ども達も自然とお風呂掃除や料理を手伝うようになってきたので、育メン予備軍ですね(笑)



かまだ さちこ
鎌田 佐知子 さん



かまだ たく
鎌田 拓 さん

魚の世界でも「育メンパパ」は当たり前。タツノオトシゴは雄が出産します。



題字のハーブティとは

～女(ひと)と男(ひと)をかんがえる～
「ハーブ(herb)」は薬草のことで、茎や葉を生(なま)あるいは乾燥して使います。これが心と体にバランスのとれたよい刺激を与えることから、女(ひと)と男(ひと)の互いにバランスのとれたよい関係であるように、また一杯のお茶から地域のネットワークも広がれば…という願いをこめて名づけられました。



＜編集後記＞

女性が社会へ進出し、力を発揮し、政治・経済・文化的にも輝くのが一番だと思いますが、現状は家庭内だけで輝いている人が多い状態です。まだまだ社会で責任を担える女性が少なく、男女が均等になるのは、まだ時間がかかりそうですね。男女は基本的に機能的な差異があり、その特徴をお互いが認め、尊重し、補い合う気持ちが大切なのは、要はお互いへの「思いやり」が一番大切なのではないでしょうか。
ハーブティ35号の発行で、私たちの編集委員の任期は終わります。あっといふ間の2年間でしたが、やっと肩の荷が降りました。
(編集委員) たかはし こしむら ともこ かわぐち さだみ
高橋 タマ 越村 梢子 川口 定美
(発行元) 地域振興課人権担当 内線386